



FUTABA

第15号
令和8年2月

りあんとは、フランス語で「人と人とのつながり」、「つなげる」という意味があります。

病院祭特別号

福島県
ふたば医療センター附属病院

病院祭



目次

診療部長あいさつ	2	病院祭について①	3
専門職からのミニ講座	2	ふたばのあゆみ	4
		病院祭について②	4

診療部長あいさつ

ふたば医療センター附属病院
診療部長 新納 教男



「知識」は何のために必要なのでしょうか？

医療においては患者さんの病気・ケガを治す為に医学的な知識が必要です。医学は進歩し続けているため、新しい知識を次々に吸収していかなければなりません。

そして、その知識を患者さんのために使っていくわけです。

「正しいことを伝える」ということは「間違っていることを指摘する」ということをしなければなりません。

正義感の強い人は、「正義を盾に正論を述べる」ことにより「快感」を覚えます。これは、脳内の快楽物質が放出され、だれでも起こりうる感情であり、となる脳科学者はこれを「正義中毒」と呼んでいます。

“正義を盾に正論を述べる”これは正しいようでもあり、人を傷つける武器にもなってしまうのです。

伝え方一つで、「感謝の気持ち」が湧いたり、「腹立たしい気持ち」が湧いたりと、人間の感情は複雑に交錯しています。患者さんへの説明も、「正しいことをいかに伝えるか」が重要になってきます。

言葉を受け入れてもらえるかどうかは、言い方一つで大きく異なります。

複雑な人間の感情に訴えかけることが、いかに難しいか、葛藤の日々です。

偉人たちの座右の銘

「偉くなくとも正しく生きる」

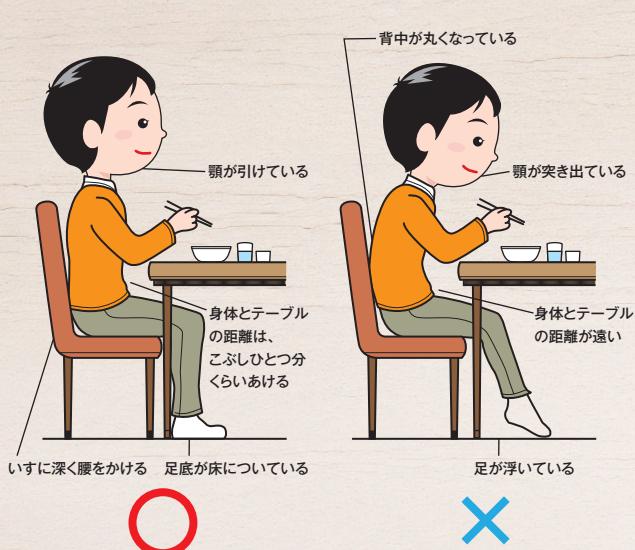
：エンペラー吉田（旧・福島県田村郡常葉町出身）

「病気やケガはカルテの上で起こっているんじゃない！ 生身の人間の身体の中で起きてるんだ！」

：新納教男（鳥取県米子市出身）

専門職からのミニ講座

日々の食事を安全に楽しむために [担当：看護部]



今回は、
摂食嚥下担当
看護師が日々の食事
を安全に楽しむため
のポイントをご紹
介します！



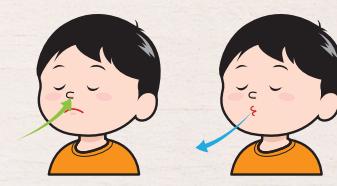
食べ物を飲み込む動きには舌や頬、のど、首回りなど多くの筋肉が関わっています。加齢や体力の低下によってこれらの動きが弱ると、むせ込みが増えて誤嚥しやすくなります。飲み込みの力は低下すると生活全体に影響するため、早めの予防がとても大切です。

特に重要なのが正しい姿勢です。椅子に深く座って骨盤を立て、背筋を軽く伸ばし、あごを少し引く姿勢は、食べ物の通り道を整え、飲み込みがスムーズになります。また、食前に軽く首や肩を回して筋肉を温めるだけでも効果があります。

簡単にできる予防として「唇をすぼめて強く吐く→ゆっくり吸う」を数回行う呼吸訓練があります。口周りの筋肉を刺激し、

嚥下時の気道の守りを助けてくれると言われています。

毎日の食事が安全で楽しい時間となるよう、ぜひ今日から取り入れてみてください。



①鼻から息を吸う。

②口をすぼめて口から息を吐く。



病院祭閉幕！ご来場ありがとうございました！

りあん第15号では11月8日に開催された病院祭の様子をたっぷりとお伝えします！



AED・心肺蘇生体験



AED・心肺蘇生体験担当：細山看護技師

AED・心肺蘇生体験ブースにお越しいただいた皆さん誠にありがとうございました。AED・心肺蘇生は普段なかなか体験する機会がないものだと思いますが、皆さんが積極的に参加してくださりとても楽しく有意義な時間となりました。体験された皆さんだけでなく私自身もいざという時に適切に行動できるようこれからも学び続けたいと感じました。

血管年齢チェック担当：尾形薬剤技師

病院祭にご来場くださいました皆さんに心から感謝申し上げます。私たちのブースでは、メタボリ先生という機械を使って血管年齢チェックを行いました。私自身、4月から富岡町に移り住んだばかりで、地域の皆さんと直接お話しできる貴重な機会となりました。測定結果をもとにお話を伺うと、「去年も測定したよ！」と声をかけてくださる方も多いいらっしゃいました。来年も皆さんから「今年も来たよ！」と元気なお声を頂けることを職員一同お待ちしております。

血管年齢チェック



災害テント・救急車展示



災害テント展示担当：伊賀副主任放射線技師

災害テントでは、お子さんを中心にトランシーバー体験をしていただきました。少し恥ずかしそうに、でも嬉しそうにご家族やお友達と通信している姿がとても愛らしく、見ているこちらも幸せな気持ちになりました。

救急車展示担当：関副主任看護技師

救急車見学では、幅広い年齢層の方に実際に乗り込んで内部も見ていただきました。「初めて見た～！」と言って喜びつつ「でも乗らない方が良いよね～」と笑っていたのが印象的でした。運転席に乗ったお子さんは、赤色灯のスイッチを押したり記念撮影をして楽しんでいただけたように思います。

試着体験



多目的医療用ヘリ展示

ふたばのあゆみ



ふたば医療センター附属病院

@futaba_fuzoku

こちらのQRコードより
Xのホーム画面に
飛べます!



公式Xではふたば医療センター附属病院の取り組みや出来事を報告しています。

ふたば医療センター附属病院の取り組みをもっと知りたい方、どんな雰囲気の病院か知りたい方など、ぜひご覧ください！フォローやリポスト、いいねも大歓迎です！

紹介しきれなかった病院祭ブースをさらにご紹介！



糖尿病相談



血糖測定



撮影
スポット
ブース



受付ブース



スタンプラリーブース



今回の表紙



病院祭での集合写真です。

今年初めて出展したブースにもたくさんの方々にお越しいただきました。

来年多くの皆さんのが来場をお待ちしております。

福島県ふたば医療センター附属病院

- 〒979-1151 福島県双葉郡富岡町大字本岡王塚817-1
- 電話 0240-23-5090 • FAX 0240-23-5091
- ホームページ <https://www.pref.fukushima.lg.jp/site/futaba/>

診療科 救急科、内科

窓口受付 平日 9時から12時、13時から16時まで
ただし、救急については24時間365日対応します。

